



2016年 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては佳い新春を迎えられたことをお慶び申し上げます。

新河端病院は本年も、「信頼と安心の医療」を皆様に提供できるように、堅実にさらなる前進をしてゆくことをお誓い申し上げます。

昨年当院は消化器外科と消化器内科および整形外科の常勤医をそれぞれ増員し体制を整えました。

年々医療情勢は厳しくなっており、現在 2025 年問題もあり地域医療構想が進められております。

その中で新河端病院は今年も、得意な消化器内科外科・整形外科・内科・救急医療・健診センターを中心とした専門分野をさらに充実させて急性期機能病院を目指し、乙訓地域の皆様に安心と満足いただける、小規模ならではの迅速かつ的確で丁寧な温かい医療の提供を実践する所存です。

そして早期発見・早期治療・早期社会復帰・予防医学・退院後支援を充実させて、高齢化社会にも対応した、地域の皆様の安心できる医療と予防医学の提供を行います。

本年も職員一同、「患者様に感動していただける医療」「患者様に選んでいただける病院づくり」を実践してまいりますので、新河端病院を何卒よろしくご願ひ申し上げます。

院長 寺本 睦

《 院長 寺本 睦 医師 インタビュー 》

生まれと出身大学はどちらですか？

島根県 旧・三原村生まれ 島根医科大学（現：島根大学医学部）

なぜ医師になられたのですか？

田舎が中学校卒業と同時に廃校になったような山間部の過疎地で、医療面でも受診のためには朝晩一往復ほどしかない国鉄のバスで 15km 先の医院に行く必要があり、専門科なら当時はそれほど普及していなかった自家用車でも片道 2 時間ほどかけて病院受診の必要がある、医療過疎地に生まれ育ったことが動機のひとつとなっています。



新河端病院へ入職された経緯を教えてください。

1998 年に当時の島根医科大学・第一外科の医局人事で入職しました。

当時の助教授と河端一也理事長が京大時代の師弟関係であるという縁があり、当時の教授からは「お世話になった斉藤先生の力になって助けてあげてくれ」と言われました。

新河端病院についてどんな思いを持っていますか？

入職後しばらくして島根県の公立病院等の話もいくつかありましたが、初診の診断から治療・退院後まで、専門分野である消化器外科手術的加療と、専門分野以外の病状も含めて一人の患者様を全人的に責任もって診ていける当院の医療環境が、自分の医療スタイルと合い、医局人事を離れて現在に至ります。

患者様へのメッセージ

新河端病院は、乙訓地域の皆様に安心と満足いただける、小規模ならではの迅速かつ的確で丁寧な温かい医療の提供を目指します。お気軽にご相談下さい。どうぞよろしくご願ひいたします。